

CHUOH TRY+ANGLE

知っ得通信

2020年4月20日発行 編集・発行：中央教育研究所(株) 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-6 <http://www.chuoh-kyouiku.co.jp>



中土井鉄信の「地域一番の繁盛塾になるための最強法則」 vol.98 < 新型コロナウイルスに負けるな！ >

4月7日に安倍首相の緊急事態宣言が出され、それを受ける形で、東京をはじめとする7指定地域で、様々な宣言がなされました。東京都は、100平米以下の学習塾には、営業停止の要請をしませんでした。感染防止対策を強化して営業しても良いということになりました。神奈川県も東京都に続きました。各府県では、財政的な問題から、宣言の強弱があるものの、夜間の外出、接待を伴うナイトクラブ等の休業要請を出しました。この宣言を受けて、指定地域外の各自治体の中で普通にやっていた学校も急遽休校になり、ほぼすべての学校で5月の連休まで休校になったのです。

このような状況の中で、各学習塾は、自分の塾のある地域の状況を見ながら、対応を迫られたわけですが、基本的に、対応は二つに分かれたのではないのでしょうか。一つは、5月の連休まで休校にしてしまい、授業自体もやらない。もう一つは、宣言を受けて数日間は、休校にして態勢を整え、分散授業にするか、オンライン授業にする。

私どもの顧問先は、8日から11日までは休校として、13日からは、分散通塾による授業か、オンライン授業での対応を選択しました。生徒の健康と安全を第一義と考え、感染防止対策を徹底し、学習の継続性を保証しようということの選択をしたわけです。読者の皆さんの塾は、どういう選択をされたのでしょうか。

このような緊迫した状況の中で、一つだけ目を引いた取り組みをする塾がありました。首都圏を中心に展開している最大手の栄光ゼミナールは、土曜日にGW講習を打ち出したのです。在籍生をターゲットにしたものではなく、一般生をターゲットにした、集客のための講習を打ち出しました。私は、この広告を見た時に、賛否はどうであれ、驚いたと同時に、大手学習塾の危機感の強さと、そして、スピード感のある決定力に感心しました。

その講習は、「学校再開後にスタートダッシュ！」と銘打って、数日間は、通塾で、祝日期間は、オンラインで授業を行う形式のものです。春期講習の一般生獲得の補填をここでしょうというものです。授業料は無料で教材費が1講座で4,400円(税込)です。栄光の幹部は、ゴールデンウィークには、落ち着きを取り戻しているだろうという思惑で、この企画を打ち出したと思われる。これからの状況がどうなるかわからない時点で、この決断をする危機感に、私は事の是非はともかく、共感をします。コロナに負けない決意が感じられました。

さて、今私たちが、やるべきことは何でしょうか。この期間に、子どもたちの日常をフォローすることです。

校舎を閉めて、オンライン対応するところもあれば、校舎をあけて、分散授業をやるところもあると思いますが、多分、多くの学習塾は、教科指導をどうするかというところで留まっているかもしれません。また、もう少し進んだところでは、オンライン自習室まで考えてやっているかもしれません。しかし、それ以上に、子どもの日常をどう考えて対応するかが問われていると思います。子どもの日常までコミットメント出来る塾こそ、私はこれから先、重要ではないかと思えます。

学校の休校で、時間を持て余している子どもたちに、楽しく、ためになる課題を出す。個々の生徒とオンラインで面談する。折角、時間があるのだから、課題図書を提示して、読書感想文を書かせる。また、YouTubeで子どもたちに見てほしいと思う映像作品等を薦めて、感想を書かせたり言わせたりする。このようなことを子どもたちに提案して、子どもたちの日常に、刺激を与えることではないのでしょうか。

また、日課表を一緒に作って、学校がある時のように、朝起床し、夜就寝する、規則正しい日常をガイドしていくことも大切なことではないかと思えます。

教科指導のみに終始するのではなく、子どもたちの日常までコミットしていきたいものです。この緊急事態宣言が解除された時に、子どもも保護者もあの時の先生の課題で助かったと言ってもらえるように、子どもたちをフォローしてください。これこそ、新型コロナウイルスに負けない生徒アプローチではないかと思えます。

【編集後記】
MBA 史上初！オンライン開催します！
《学習塾経営革新会議》テーマ「緊急事態宣言下の教室運営」

中土井鉄信による講演や参加者同士のグループワークを通じ、成功経営計画づくりをサポートします。「緊急宣言が延長されたら?」「学校の夏休みが短縮されたら、夏期講習はどう設計する?」等々、中土井をコンサルタント、アドバイザーとして、参加者全員で考え、討論する【実践的な内容】です。

◆ **MBA 学習塾経営革新会議**
5月2日(土) 13時~17時 オンライン開催
 【参加費】一般参加 6,000円(税別)
 ※ MBA 塾経営革新メンバーの方は特別料金でご案内しております。
★詳細とお申込みはこちら★
<https://management-brain.net/mbaseminar/>

数字でみる学習塾経営・業界のトレンド vol.62

本稿を記しているのは4月15日の早朝。1週間ほど前の7日に7都府県を対象に新型コロナウイルス感染拡大防止に関する政府の緊急事態宣言が発令され、11日に対象地域に指定された東京都と神奈川県が緊急事態措置を執行。昨日から本日にかけて、埼玉県、千葉県、大阪府、兵庫県、福岡県なども次々に同措置の執行を開始している時期にあたります。本稿が配信される20日には、この国がどうなっているのか全く予想が付きません。

学校も続々休校を発表しています。文科省が10日午後9時30分現在でまとめたところによると、全国の小学校の67%、中学校の67%、高校の65%が休校しているとのことですが、北海道、愛知、京都、岐阜、三重、石川なども独自に緊急事態宣言を発出あるいは発出予定という現時点では、これを大きく上回る数の学校が休校措置を執っているとされます。

ところで、学校休校に関連して、興味深い話をいくつか耳にしました。

3月初旬から休校が続いている地域で、学習塾への入塾申し込みが急に増えはじめたというのです。

もちろん、各地からの断片的な話ですので、正確な数字を申し上げることはできません。

が、ありうることだろうとは思いますが、

3月初旬からの休校で、子どもたちは前学年の「まとめ」の学習ができませんでした。4月いっぱい休校で、現学年の出だしの学習も無理です。そこに文科相が4月10日、「一定の要件のもとで行われた家庭学習の内容を改めて学校で教える必要はない」と都道府県教委に通知。つまりは、学校が再開されたら、「未履修のところは無視して進めてよろしい」ことになったわけですね。

子どもの勉強不足＝学力低下と生活の乱れにアタマを痛めていた保護者が、これに反応しないわけがありません。

とはいっても、そうした地域のどんな塾にも申し込みが来ているかというと、もちろんそんなことはないようです。

3月の全国一斉臨時休校時、塾がとった対応はさまざまでした。

1. 完全休業
2. 通常営業を継続
3. ネットを利用して既製の映像授業を配信
4. ネットを利用して自社の授業を配信
5. 双方向性を持つアプリを利用したオンライン授業
6. 夜間ではなく昼間の分散登塾
7. 紙教材の宿題と週1回程度登塾しての採点・添削、質問受付
8. 電話・ファックスでの励ましと質問受付
9. 上記、いくつかの組み合わせ

地域の緊迫度にもよりますが、このうち、保護者からの評価が高かったのは4以下だったと言われています。

さらに加えて、生徒に対してのこうしたしつかりしたケアだけでなく、保護者に対しても丁寧にコミュニケーションをとった塾の評価はとりわけ高かったと言われています。

結論を言えば目下、入塾申し込みが来はじめている塾はおそらく、生徒のみならず保護者の「相談相手」として認められた塾なのでしょう。

それが短期間に口コミで広がり、「客が客を呼ぶ」という現象が起こったと考えてよからうと思います。

わたしたちはいま、未曾有の体験をしています。

この状態は、特効薬やワクチンが実用化されるまで続くでしょうが、それにはおそらく1、2年の月日が必要でしょう。それまでは、たとえ一時的には沈静化したとしても、再び三たびとコロナが波状攻撃をしかけてくるのは間違いありません。

その間、どうすれば事業を持ちこたえていけるのか。どうすれば塾生はもとより、非塾生をも含めた地域の子どもたちを支えていくことができるのか。

塾は、子どもたちの将来にとっても社会の未来にとっても必要不可欠な「教育インフラ」です。

守らなければなりません。

常勤非常勤含めた全塾一丸となって、できることは何でもやりながら、この難局を耐え抜いてまいりましょう。